

第1分科会	会長・副会長・事務局長部会
<p>テーマ：「障害者総合支援法改定に向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央情勢報告を受け、質疑応答 ・各地方会状況報告、及び課題について 	
<p>【講演】「情勢報告」</p> <p style="text-align: center;">公益財団法人日本知的障害者福祉協会事務局長 末吉 孝徳 氏</p>	

第2分科会	児童発達支援部会
<p>テーマ：「生まれ来た子どもたちに誇れる未来」</p> <p>子どもたちが大人へと成長していく過程で「安心して堂々と生きる」ために今、直面している課題をどう解決して未来へとつなげるのか。関係者が集合体となって進むべく方向性を確認する。</p>	
<p>【講演】「障害児支援、これまでの10年、これからの10年」</p> <p style="text-align: center;">社会福祉法人ゆうゆう 品川区立品川児童学園 施設長 光真坊 浩史氏</p>	
<p>【シンポジウム】</p> <p style="text-align: center;">コーディネーター 社会福祉法人友愛学園 友愛学園児童部 施設長 内山 敏 助言者 社会福祉法人ゆうゆう 品川区立品川児童学園 施設長 光真坊 浩史 氏</p>	
<p>【実践報告】</p> <p>○入所 公益財団法人鉄道弘済会 総合福祉センター弘済学園 園長 高橋 潔 氏 「子どもたち一人ひとりのより良き『巣立ち』を目ざして ～障害児入所施設における地域移行支援の実際～」</p> <p>○通所 社会福祉法人友愛学園 渋谷区障害者福祉センターはあとぴあキッズ 副所長 平井 眞琴 氏 「医療的ケアを要する児童への支援の形 ～福祉事業所でできること～」</p>	

第3分科会	障害者支援施設部会
<p>テーマ：「これからの福祉を担う若手人材の可能性と障害者支援施設の在り方を考える」</p> <p>「共生社会の実現」に向け、また本大会のテーマである『「安心して堂々と生きる」を支える』のためにも、これからの福祉を担う若い人材（リーダー）の定着と育成は不可欠である。平成28年度の障害者支援施設部会研修会では「魅力ある福祉～人が集まる職場づくり～」というテーマで研修を行った。担い手を確保する「入り口（採用）」の部分の研修として、私たちの職場・業界の魅力や価値を発信する方法や、それと合せて職員一人ひとりが「自立型人材」として働くための価値観について重要な気づきを得ることができたと感じている。</p> <p>今回は株式会社 Join for kaigo の代表取締役で、東京都福祉人材対策推進機構専門部会にも関わっていらっしゃる秋本可愛氏をお招きし、施設の中堅を担う若手職員達と同世代の立場からお話をいただきたいと考えている。内容としては、ご自身が運営を手掛けている若手介護関係者のコミュニティ「HEISEI KAIGO LEADERS」の取組みを中心に、常識や固定概念に捉われない新たな「介護」の価値創造についてお話をいただき、若手職員が主体的に、前向きに働き続けられるために、われわれ施設の経営者が持つべき視点についてアプローチするとともに、知的障害者福祉の「支援」の価値観や在り方について考える機会とする。</p>	
<p>【講演】「『HEISEI KAIGO LEADERS』の取組みから～これからの障害者支援施設の可能性を考える～」</p> <p style="text-align: center;">株式会社 Join for Kaigo 代表取締役 秋本 可愛 氏</p>	

第4分科会	日中活動支援部会
<p>テーマ：「安心して堂々と生きることを考える ～地域でのネットワークの構築～」</p> <p>「安心して堂々と生きる」ためには、地域での暮らし、生きがいとともに作り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現が欠かせません。現在、福祉事業者には、地域社会の一員として、地域住民とともに、地域づくりに積極的に取り組むことが求められています。障害者福祉関係者の出番をどう作っていけばよいのか？街づくり・地域づくりにどう関わっていけばよいのか？先駆的に実践されている障害者福祉事業者からのお話を伺い、発想のヒントをいただく機会にしたいと考えています。</p>	
<p>【講演】「地域共生社会の実現に向けて（仮）」</p> <p>社会福祉法人福祉楽団 理事長 株式会社恋する豚研究所 代表取締役 飯田 大輔 氏</p> <p>【シンポジウム】「地域でのネットワークを構築するために何をすべきか」</p> <p>シンポジスト</p> <p>○特定非営利活動法人障害者就労支援センター どんまい福祉工房 理事長・施設長 渡邊 英夫 氏</p> <p>○認定特定非営利活動法人やまぼうし 理事長 伊藤 勲 氏</p> <p>アドバイザー 社会福祉法人福祉楽団 理事長 株式会社恋する豚研究所 代表取締役 飯田 大輔 氏</p> <p>コーディネーター 社会福祉法人同愛会 練馬区立大泉福祉作業所 施設長 練馬区立大泉つつじ荘 施設長 古山 恵治 氏</p>	

第5分科会	生産活動・就労支援部会
<p>テーマ：「与えられる側から与える側へ～これからの就労系サービスをどうする～」</p> <p>TOKYO 発信！自分らしく、輝くために「はたらく」とは？</p> <p>一般就労、アーティスト、作家、アスリート…一人ひとりのはたらき方（自分らしく）を見つけて、活躍している姿を色々なところで見ようになりました。きっとそこには、たくさんの“笑顔、元気、楽しい、面白い、ワクワク、あたたかさ…”があるはずです。人と人が支え合う「やさしいまち」の報告も交えながら、人とのつながり、社会とのつながり、人の幸せなど、人にとって大切なことを「はたらく」を通して考えてみたいと思います。</p>	
<p>【講演】</p> <p>○社会福祉法人目黒区社会福祉事業団 目黒区立下目黒福祉工房 準備室長 齊藤 正 氏 ○con*tio（障害のあるアーティストのコーディネーター） 杉 千種 氏 山口 里佳 氏</p> <p>【シンポジウム】</p> <p>○コーディネーター、発表 おおきな木（コミュニケーションデザイナー） 加藤 未礼 氏</p> <p>○シンポジスト 社会福祉法人目黒区社会福祉事業団 目黒区立下目黒福祉工房 準備室長 齊藤 正 氏 con*tio（障害のあるアーティストのコーディネーター） 杉 千種 氏 山口 里佳 氏</p>	

第6分科会	地域支援・相談支援 合同部会
<p>テーマ：「安定した地域での暮らしを支える～ネットワーク」</p> <p>「地域で生きるとはリスクも多いけれど楽しい！！」そしてその当事者の思いを一緒にかなえたい人たちがいます。『安心して堂々と生きる』を支える』ための実践が各地で始まっています。時には障害福祉サービスの枠を超え取り組んでいる実践を、それぞれの立場から紹介し、知的障がいのある方の地域での暮らしや自立生活を考えます。</p>	
<p>【実践報告】</p> <p>○児童期における育ち支える実践 特定非営利活動法人風の子会 放課後デイサービス かつしか風の子クラブ 代表 佐野 靖子 氏</p> <p>○『知的障害者の自立生活についての声明文』作成に携わり、実際に住み慣れた地域での自立生活を支えてきた実践 特定非営利活動法人はちくりうす 理事/管理者 櫻原 雅人 氏</p> <p>○相談支援専門員として利用者の声に耳を傾け、地域生活を支えてきた実践 社会福祉法人東京都知的障害者育成会 杉並障害者自立生活支援センターすだち 相談支援専門員 佐藤 弘美 氏</p> <p>【シンポジウム】</p> <p>「安心して堂々と生きる」につながるよう、グループホームだけでなく自立生活も含めたその人らしい暮らし方とそれを支える支援のネットワークなどについて意見交換します。</p> <p>○特定非営利活動法人風の子会 放課後デイサービス かつしか風の子クラブ 代表 佐野 靖子 氏 ○特定非営利活動法人はちくりうす 理事/管理者 櫻原 雅人 氏 ○社会福祉法人東京都知的障害者育成会 杉並障害者自立生活支援センターすだち 相談支援専門員 佐藤 弘美 氏</p>	

第7分科会	支援スタッフ部会
<p>テーマ：「利用者の幸せ実現の為のケース検討会について考える」</p> <p>ケース検討会の進行、やり方で迷ったり、行き詰まったりしたことはありませんか？自傷や他傷等、行動障害と言われる課題から、日々の支援の中での困りごと等、利用者の幸せな生活を実現する上で、ケース検討会は欠かすことが出来ません。</p> <p>より幸せで安定した生活を送る為に、ご本人の希望や目標は何か？私たち支援スタッフには何が出来るか？どのような共通理解のもと支援を進めるべきか？より充実した有意義なケース検討会の進め方について、一緒に考え学びたいと思います。</p>	
<p>【講演】「限られた時間の中で有意義なケース検討会を行う為に」 社会福祉法人南風会 シャロームみなみ風 施設長 廣川 美也子 氏</p> <p>【事例発表】 社会福祉法人啓光福祉会 啓光ホーム 横川 まや 氏</p> <p>【ケース検討】 講演を踏まえた上で、事例をもとにケース検討会を行います。実際に行うことで、ケース検討会の展開方法について学び考えます。自身の職場の事例やケース検討会のやり方等、情報交換しながら、支援スタッフの視点で考えます。</p>	